

アマチュア無線で災害時の情報収集 小林アマチュア無線クラブと協定締結



松ヶ野会長は「近年災害が頻発化していることもあり、普段から利用している無線を活かして何か協力できないかと考えていました」と話しました

7月6日、市と小林アマチュア無線クラブ（松ヶ野安博会長）が災害時の情報収集などについての協定を締結しました。これは、災害でアマチュア無線以外の通信が使用できなくなった場合に、被害が発生した場所や状況、住民の避難状況や安否確認などの情報を収集することで、災害の早期復旧につなげるため締結されたものです。

郷土芸能を次世代へ「兵児踊り」

6月29日、小林小学校で真方一区兵児踊り保存会を講師に迎え、兵児踊りの歴史を学ぶ授業が開催されました。



同会では、郷土芸能に触れ、継承してもらうことを目的に、例年小林小4年生を対象に指導しており、児童はその成果を運動会で披露しています。

地域のつながりで非行や犯罪を防止

7月3日、第73回社会を明るくする運動の内閣総理大臣メッセージ伝達式が行われました。小林地区保護司会川畑静子



会長が「再犯防止には地域の理解や協力が重要」と市長へメッセージを伝達。非行や犯罪防止には、地域の連携が重要であることを確認しました。

読み聞かせで豊かな心を育む 西小林小学校で体験会を実施

6月30日、読書を通じて子どもたちに豊かな心を育ててもらおうと、西小林小で読み聞かせの体験会が行われました。参観日にあわせて家庭教育学級の一環として開催され、1・2年生の児童・保護者約100人が参加。講師の坂下実千代さん・篠原直美さんの読み聞かせを体験後、家族ごとに分かれて絵本の読み聞かせに挑戦しました。



読み聞かせに挑戦した松田典雄さんは「普段は妻が読み聞かせをするので今回が初挑戦。子どもの反応がよく、おもしろかった」と話していました

アグリトレーニングセンター第5期生入講

6月28日、アグリトレーニングセンター第5期生入講式がありました。センターは、経営感覚に優れた担い手の確保



や地域農業活性化を目的に令和元年に設置。研修生の間寛人さん・由香里さんは、きゅうりの栽培管理や農業経営を学び、新規就農を目指します。写真前列中央：中間寛人さん、前列右から4人目：中間由香里さん

小林税務署から市へ感謝状

6月29日、小林税務署から市に感謝状が贈呈されました。職員の意識改革や業務改善に取り組んだことで、市



が受け付けた確定申告を税務署に専用回線で提出する「データ引継」の利用率が大幅に上昇し、行政の効率化が推進されたことが評価されました。

柔道・Jクラブ 南煌人さん 個人・団体戦で九州大会に挑む



団体戦にも宮崎県代表として出場する南さんは「良い結果が出るよう頑張りますので応援よろしくお願いします」と意気込みました

6月26日、Jクラブの南煌人さん（小林小6年）が柔道競技での九州大会出場を市長に報告しました。南さんは4月に開催された第43回宮崎県少年柔道各学年体重別選手権大会の小学6年生の部軽量級で見事優勝。7月1日と2日に長崎県で行われる第41回九州少年柔道大会への出場を勝ち取りました。

「つどいの場ふるさとセンター」初開催

6月24日、須木総合ふるさとセンターで「つどいの場」がありました。子どもから高齢者までさまざまな年代の



交流の場にしようと、社会福祉協議会須木支所が初めて企画。子ども食堂や地場製品の販売、子どもの遊び場などが設けられ、賑わいました。

田んぼで熱戦！泥んこバレー大会

6月25日、東方高山地区で泥んこバレー大会（高山やろう会主催）が開催されました。地域活性化や住民同士の



交流を目的に開催されたもので、開催は4年ぶり。当日は10チーム約50人が白熱した戦いを繰り広げ、大きな歓声や笑い声が上っていました。

野尻中学校でパラスポーツ体験会 ボッチャや卓球バレーを体験

6月22日、共生社会について考えてもらおうと、野尻中でパラスポーツ体験会が行われました。障がい者活動支援団体の小林市あかつき福祉協会（早田孝信会長）の協力で開催され、3年生50人が参加。ボールを投げて白いボールまでの距離を競う「ボッチャ」とバレーボールのように卓球玉を打ち返して競う「卓球バレー」を体験しました。



生徒は昨年度もボッチャを体験。西畑晴空さんは「ボールを強く投げすぎたりして難しかったが、去年より上手くできた。またやりたい」と喜んでいました

大部菌智子さんに教育委員を委嘱

6月16日付けで、大部菌智子さんが教育委員に委嘱されました。教育委員は、市の教育



に関する方針や重要事項の決定を行っています。大部菌さんは平成19年から教育委員を務めており、今回の任期は令和9年6月までの4年間になります。

PR大使の海蔵亮太さんが表敬訪問

6月22日、こばやしPR大使で歌手の海蔵亮太さんが市長を表敬訪問しました。父が本市出身という縁から令和元年に



大使に就任した海蔵さん。「コロナ禍で小林に来られなかったが来られてうれしい。小林のためにも、多くの人に歌を届けていきたい」と話していました。

無病息災や五穀豊穰を祈る伝統行事 霧島岑神社と野尻小学校で「六月灯」まつりを開催



【霧島岑神社】Photo1 灯籠で彩られた参道 2 獅子舞 3 多数の来場者で熱気に包まれる境内【野尻小学校】4 野尻エイサー隊東風 5 ステージイベントを楽しむ来場者 6 家族連れでにぎわう屋台

7月15日、霧島岑神社と野尻小学校で「六月灯」が行われました。六月灯は、旧薩摩藩領に伝わる無病息災や五穀豊穰を祈る夏祭り。霧島岑神社の「六月燈まつり」では、昨年規模を縮小して開催したものを、コロナ禍前の規模に戻して開催。地元小中学生や園児が作った100個の灯籠で参道が幻想的に彩られ、来場者は巫女の舞や獅子舞、太

鼓や屋台などを楽しみました。野尻小で行われた「東麓六月灯まつり」では、小学生や地域住民が作成した約110個の灯籠で会場の体育館までの渡り廊下を装飾。会場内は、地元保育園児によるこども神輿や、歌や踊りなどのステージイベントで盛り上がったほか、会場外にはさまざまな屋台が出店され、多くの来場者でにぎわっていました。

行政に対する相談は行政相談委員へ

行政相談員として、池上宗市さんが総務大臣から委嘱されました。行政相談委員は、住民と行政のパイプ役として、役所の仕事や行政サービス、手続きなどに関する相談を受け付け、相談者への助言や関係行政機関に対する改善の申し入れなどを行います。



人権擁護委員2人が委嘱されました

人権擁護委員として、権原えい子さんと横光子さんが法務大臣から委嘱されました。毎月「人権・行政・なやみごと相談」を開催していますので、気軽に相談ください。今月の相談日は17日、「くらし」のページを確認ください。



秀峰高校ハンド部高橋孝太郎さん 日本代表として日韓中交流大会出場



高橋さんは「日本代表としての自覚を持ち、自分の持ち味をしっかりと発揮できるようがんばりたいです」と意気込みを話しました

高橋孝太郎さん（小林秀峰高校3年）が東アジア諸国とのスポーツ交流や各国のジュニア層の競技力向上のため開催される日・韓・中ジュニアハンドボール交流大会に出場します。高橋さんは4月に行われた選手選考会で60人以上いる候補選手の中から14人の日本代表として選出。大会は8月24日～29日にかけて和歌山県で開催されます。

みんなで川をきれいにしよう 東方小児童と保護者が環境保全活動



参加した東方小4年白ヶ澤朝陽さんは「川が綺麗になってよかった。ウナギはニョルニョルして掴みづらかったです」と話しました

7月15日、東方小学校主催で三之宮峡周辺の河川清掃活動とウナギの放流が行われました。これは、児童や保護者に身近にある河川への関心を高め、河川環境の保全・再生について考えてもらおうと同校と小林高原野尻漁業協同組合が協力し毎年開催しているもの。当日は東方小児童や保護者ら約70人が環境保全活動に取り組みました。

剣道・小林伝志館 団体戦で全国大会に挑む

7月18日、日本武道館で7月27日と28日に開催される、第57回全国道場少年剣道大会（小学生の部）に出場する小林伝志館の選手が市長を表敬訪問しました。同館は、5月27日に宮崎市で行われた第38回宮崎県少年剣道錬成大会において、団体の部で勝ち上がり、全国大会への出場権を勝ち取りました。



団体戦大将の三松小6年植竹奈々さんは「周りは男の子でみんな強いが自分も強い。胸を張って出場し優勝を目指します」と力強く抱負を語りました

食の大切さやふるさとの良さ学ぶ 小林中学校1年生が農業体験

7月6日、小林中の1年生が、北きりしま田舎物語推進協議会の協力農家宅で農業体験を行いました。体験は、食の大切さやふるさとの良さを学んでもらおうと市の食育実践推進事業を使って3年前から実施。野尻地区「畑の宿づのかんぼ（大角恭代さん）」では、6人の生徒がピーマンやナスなどの収穫や梅干しの仕込み作業を体験しました。



農業体験に参加した川田琳風さんは「梅干しの仕込みは初めて。シソを採み込むと赤い色が出てくるのが面白かった」と話していました

三松地区のお祭り「ナイトイン三松」 4年ぶり開催で学校と地域が一体に



当日は、せんぐまきや大抽選会といったステージイベントをはじめ、食べ物や射的の屋台など、地域の子どもから大人まで、幅広い年代が楽しみました

7月8日、三松小学校でナイトイン三松が開催されました。三松小PTAが児童や保護者、地域、学校をつなぎ、学校への愛着を育てることを目的に例年開催しているもので、今回、地域のお祭りとしての定着化を目指し、チームみまつ協働体と連携し開催。当日は三松地区以外からの来場者も多く、1500人を超える大盛況となりました。